

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月20日(月)参加倶楽部数24／通過倶楽部数5



1位 茨城ゴルフ倶楽部 / 455



2位 セベ・パレストロスゴルフクラブ / 474



3位 ニッソーカントリークラブ / 475



4位 浅見カントリー倶楽部 / 478



5位 カントリークラブ・ザ・レイクス / 478

ベストスコア賞



左から。Aクラスの相馬聡夫君(茨城)、Bクラスの千野英樹君(茨城)。



左から。白帆CC競技委員長の山田理事と白帆CC社長の鬼沢理事長。



善戦健闘の白帆CC代表選手。

雷情報をチェックしながら、現場の競技委員との情報交換に追われていました。幸いプレーを中断することもなく、競技は無事に終了することができました。成績は茨城ゴルフ倶楽部がこのような条件にも関わらず、455ストローク(平均75・8)で、2位に19打の差をつけて圧勝。ベストスコア賞もA・Bともに同倶楽部の選手が獲得し、優勝に

華を添えました。2位から5位までは4打差のなかに、4チームが入るという接戦でした。当倶楽部の選手もブロック大会出場を目指し、地の利を活かして練習を重ねてきましたが、プレッシャーもあつたのか、3打およばず7位で残念な結果になりました。ホスト倶楽部として頑張っていた皆さまへ、お疲れさまでした。また来年の予選通過を目指し、頑張っていきたいと思います。スタッフの一人が次のような感想を述べてくれました。「選手の皆様は悪天候をもとめせず、ひたむきにプレーされており、感動を覚えました。当倶楽部チームは研修会の回数を増やし、ブロック大会出場を目指しましたが、惜しくも入賞を逃しました。けれどもスタッフの一人として、こ

の競技の開催を通じてスタッフ全員が同じ目的を持ち、協力し合うことで達成できる喜びを感じることができ、有意義な1日となりました」今回、開催倶楽部として、従業員一同が向上と達成の喜びを得ることができました。多くのことを学ばせていただけたいことを糧にし、今後もこの経験を活かして、皆様にご満足いただけますような倶楽部運営に努力していく所存です。最後に、本競技を無事に終了することができましたことにつき、打ち合せから競技終了までご指導いただきました大木競技担当委員長をはじめ、競技委員の皆様、参加倶楽部の選手ならびに関係者の皆様のご支援ご協力を深く感謝申し上げます。(白帆カントリークラブ支配人・櫻井忠久)

特にコース整備は、参加倶楽部の代表選手が、持てる力を存分に発揮していただけるようなコンディション作りに、コース管理課スタッフ全員が、気を配りながらの作業を進めてきました。運営については、昨年開催の金砂郷カントリークラブ様に、特に不安な点について相談させていただき、適切な助言をいただきました感謝しております。今年度よりブロック大会が新設され、予選通過が5倶楽部に広がりました。通過チャンスが多くなったとはいえ、3月に入ると早くも練習ラウンドに訪れる倶楽部もあり、指定練習日を含め5回以上の、練習ラウンドをされたのが5倶楽部ありました。大半の倶楽部のチー

残念だったのは当日の天候で、前日までの好天が嘘のよう。曇り空のもと、倶楽部対抗競技特有の雰囲気と緊張のなかで、倶楽部と応援団の期待と声援を受け、第1組がスタートしていきました。10時頃には雨が降り出し、午後になって回復せず、雷雲も発生しました。競技担当委員長はトランシーバーを片手に

平成25年5月20日、関東倶楽部対抗茨城第1会場予選競技が当倶楽部にて、平成4年以来21年ぶりに開催されました。前回開催時のスタッフも数名いましたが大半が未経験で、この競技を成功させるために不安を抱えながらも、当日に向けてベストな状態でお迎えできるように、スタッフ全員で準備を進めてきました。前回の経験で、この競技を成功させるために不安を抱えながらも、当日に向けてベストな状態でお迎えできるように、スタッフ全員で準備を進めてきました。特にコース整備は、参加倶楽部の代表選手が、持てる力を存分に発揮していただけるようなコンディション作りに、コース管理課スタッフ全員が、気を配りながらの作業を進めてきました。運営については、昨年開催の金砂郷カントリークラブ様に、特に不安な点について相談させていただき、適切な助言をいただきました感謝しております。今年度よりブロック大会が新設され、予選通過が5倶楽部に広がりました。通過チャンスが多くなったとはいえ、3月に入ると早くも練習ラウンドに訪れる倶楽部もあり、指定練習日を含め5回以上の、練習ラウンドをされたのが5倶楽部ありました。大半の倶楽部のチー

ムが3〜4回は訪れ、改めてこの倶楽部対抗戦に対する、各倶楽部の熱い思いを実感しました。競技当日、朝のコースチェックから戻られた大木競技担当委員長より「仕上がり状態に感動しました」とのお褒めの言葉をいただき、一同胸をなでおろしました。これもキーパーを中心として、この日を目指してこのコンディションの整備に、一生懸命務めてきたことが報われたものと思います。残念だったのは当日の天候で、前日までの好天が嘘のよう。曇り空のもと、倶楽部対抗競技特有の雰囲気と緊張のなかで、倶楽部と応援団の期待と声援を受け、第1組がスタートしていきました。10時頃には雨が降り出し、午後になって回復せず、雷雲も発生しました。競技担当委員長はトランシーバーを片手に



開催倶楽部、白帆CCの代表選手と関係者各位。

霞ヶ浦台地にある
林間コースは
バンカーが強敵！



茨城第1会場予選

第4ブロック大会

白帆カントリークラブ

悪天候でも各選手のひたむきなプレーに感動